

指標の考え方

1. 取組状態の考え方

指標	点数	状態 (まちセンの支援の有無は関係ありません)
○	5	取組イメージの具体的取組が実施できている。
△	3	取組イメージの具体的取組に着手している。
×	0	取組イメージの具体的取組に着手していない。

※これまでは4段階 (◎○△×) で状態把握していましたが、3段階 (○△×) に変更します。

2. 自律度の指標の考え方

指標	点数	状態
A	10	まちづくりセンター等の支援が必要ない状態 【考え方】 地域活動協議会自らが考えて主体的に様々な活動や組織運営を行うことができている状態。 ※まちづくりセンター等の助言を受けてはならないということではありません。 例) ・活動上困ったときなどにスポット的に助言を受ける ・新たな事業を行う場合の相談 など
		まちづくりセンター等の支援がしばしば必要な状態 【考え方】 主体的に活動を行う意思はあるが、自らの力だけでは難しい場合があるなど、定期・不定期にかかわらず、まちセン等の支援を必要としながら、様々な活動や組織運営を行っている状態。
C	1	まちづくりセンター等の支援が常に必要な状態 【考え方】 まちセン等の支援がなければ様々な活動や組織運営を行うことができない状態。

※これまで中項目 (めざす状態に向けた課題・取組) ごとに自律度を判断していましたが、よりきめ細かく状態把握を行うために、小項目 (具体的取組) 単位に変更します。
評価指標は従来どおり3段階評価とし、判断基準 (状態) は小項目単位への変更に伴い修正しています。

3. 数値化の考え方

各地活協ごとに「取組状態」と「自立度」をあわせた「総合点」を設定しました。

取組状態・自律度の総合点早見表

取組状態	自律度	総合点	100点換算
○	A	15	100
△	A	13	87
○	B	10	67
△	B	8	53
○	C	6	40
△	C	4	27
×	-	0	0

※取組状態が×の場合、自律度欄は- (ハイフン) としてください。

※状況把握シート「前年度末比較」の矢印は、この総合点に基づき、表示しています。

地活協ごとの総合点 計算方法	(ガイドライン「めざす状態に向けた課題・取組項目」全7項目の平均) ÷ 15 × 100
-------------------	--

計算方法のイメージ図

